

山行日 2019年8月24日(土)～25日(日) 晴れ

コース (1日目) 新宿7:00＝茅野9:00＝蓼科登山口11:15/11:30－八子ヶ峰13:00/13:15－親湯－小斎の湯－蓼科湖湖畔の宿16:30

(2日目) 蓼科湖湖畔の宿08:23＝北八ロープウェイ08:50＝山頂駅9:00/9:10－坪庭－縞枯山10:30/10:35展望台10:40/10:55－茶臼山11:40/12:00－大石峠12:40－麦草峠13:20－白駒池散策－麦草峠15:40＝茅野16:52解散 各自指定席で帰路に

歩行時間 (1日目) 5時間 (2日目) 5時間30分

費用 茅野＝蓼科登山口*1485円 宿泊費3000円 蓼科湖＝山麓駅470円
八ヶ岳ロープウェイ*900円 麦草峠＝茅野 1450円 合計7305円
(*は団体割引、茅野までのJR代は不含)

1日目 自宅からそれぞれ出発。茅野駅に10名集合して南白樺湖行バス停に向かう。バスは思いの外の混雑で乗り切れず、すし詰め状態で立っていくより良いかと、予定より30分後の少し遠回りのバスに座って向かったがこれが誤算。目的地・南白樺湖にはなかなか到着する様子は見られず、この先の行程を考えるとタイムリミットの限界を超えたと判断し、急遽直前で変更、蓼科登山口で下車。ここから登山開始とした。中村Lを先頭に茶屋の後ろを抜け、緩やかな登山道を登る。樹林を抜け心地良い高原の風を感じられようになるとヒュッテの赤い屋根が見え視界も大きく広がった。小休止後、右手に雄大な蓼科山を控え前方には遠く霧ヶ峰車山も望まれ、足元には薄や笹の原にハクサンフウロ、ワレモ紅など沢山の花を目にしながら八子ヶ峰山頂に向かう。山頂には待っていてくれたかの様に、マツムシ草が咲き赤トンボが飛び交っていた。遅れもあり、短い時間で昼食を済ませヒュッテまで戻る。さらに下り親湯・蓼科湖方面分岐に入る。後ろに蓼科山、右手に八ヶ岳の主峰、暫くは展望の良い比較的平坦な尾根道を歩く。樹林帯に入り勾配も大きくなりひたすら下っていく。途中、御柱ゆかりの蓼科神社に立ち寄る予定だったが、分岐を見つからず滝の湯バス停まで下りてしまった。そのまま車道を下り小斎の湯～蓼科湖畔のコンビニで買い物、宿泊先及川荘へと向かった。宿は貸し切り、飲んで食べて自己紹介と称してのおしゃべりで思いのままの時間を過ごした。1泊2食付3000円 食べきれない程のおかずとご飯、手作りのお土産まで頂いた。



八子ヶ峰 蓼科山をバックに



湖畔の宿の夕

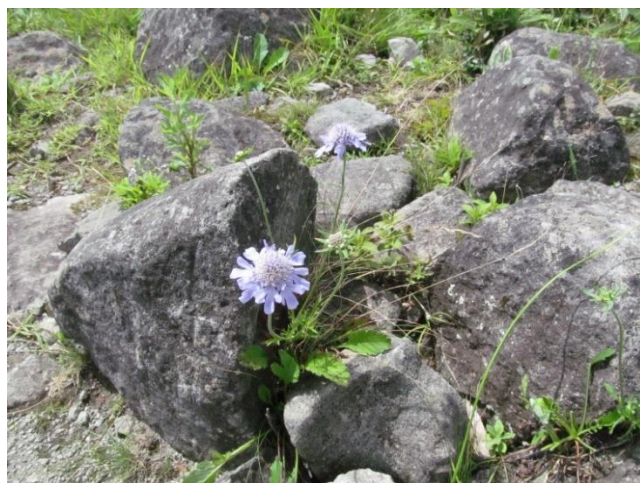
2日目 社員寮だったようで建物は古いが3つの広い部屋に分散、各自ベッドでぐっすり眠れ、朝5時半頃に起床し蓼科湖畔を散策、朝焼けの山々を眺めながら爽やかな空気を胸いっぱい吸って朝食となる。湖畔からバスで北八ロープウェイへ、山頂駅からいよいよスタート、まずは苔などに覆われた石が庭のような大自然の坪庭から縞枯山へ向かう。樹木が縞模様のように枯れた状態が見られそれが山名の由来らしい。標高差はそれほどないが急登が続き平らなところに到着するも、山頂というらしさが感じられず通過してしまう。尾根伝いを行くとやがて展望台に到着。目の前にはこれから登る茶臼山、遠くには八ヶ岳そして赤岳など、天気も良く素晴らしい眺望に疲れも吹き飛び改めて感激した。一度大きく下り、再び上りに入り茶臼山に到着、相変わらず眺望は素晴らしい。一休みして下山開始、登山道は石が多く慎重に進み無事麦草峠に到着する。

ここで今回の山行は終了となり下山連絡をする。

ここから3名は天狗岳に向かうためにお別れとなる。残ったメンバーはバスの発車迄2時間程あるので、バス停にザックを置いて近くの白駒池に散策、池の周囲には苔が見頃の場所があるが時間の都合で一周するのは諦めてしばらくお休みどころで池を眺めて目の保養にする。



朝 お宿の前で



松虫草



坪庭



展望台